

内閣府 女性と経済ワーキンググループ 報告メモ 2011/12/20

山田昌弘

データ分析に関するメモ - 女性の働き方の変化と家族形態

「サラリーマン-主婦が標準」から多様化へ？

ジェンダー革命（男性一人の稼ぎでは家計を支えられない）以後

- \* 女性の経済活動の背後には「家族」がある  
家族の状況と絡めて分析する必要がある。

女性の働き方の変化 ← 家族の変化

女性が属する世帯カテゴリーの変化（未婚化 共働き化 男性収入の低下）

各世帯カテゴリーにおける変化

全国消費実態調査によりその動向をみる

- \* 女性が属する世帯カテゴリー

未婚	単身者	増大
	親同居未婚者	増大
既婚	専業主婦	減少
	非正規共働き	増大
	正規共働き	微増（全体の15%程度）
	その他（専業主夫、夫が非正規、自営-）	増大
その他	ひとり親	増大
	その他	増大

- \* 各カテゴリーの変化と課題

単身女性の仕事と収入、消費（今回菅米地先生が報告）

親同居未婚者者（分析中 非正規、低収入化）

既婚者 3つの既存傾向は変わらない（分析中）

① 年齢が高くなる-就業率上がる（非正規共働きが増える）

② 共働きの大部分は非正規雇用、低収入（前回安部報告）

③ ダグラス=有沢の法則（夫低収入-労働力率上がる）は変化ない

ひとり親（収入二極化しながら低下 全国消費実態調査報告より分析済み）

既婚女性労働力の課題 ① 子どもが小さい時の雇用

② 非正規解消

③ 夫高収入女性の労働力率拡大

その他のカテゴリーの課題 低収入の底上げ